

国際的な課題・地域の課題・ユースとの連携に取り組んだ2019年度の活動を振り返る



写真上：被災地にクリスマスリースを送ろう。ワイズメンズクラブの協力で実施された。写真下左 気候変動マーチに参加した若者たち。写真下中央：サーロー節子さんとYMCA国際リーダー 写真下右：西日本豪雨災害復興支援 リフレッシュキャンプ。

2019年度を振り返る

公益財団法人広島YMCA国際コミュニケーションセンター（以後GCC）では、2012年度の秋に公益財団法人化がなされ、2013年から本格的に公益財団法人としての活動が始まりました。

あれから6年、GCCでは、YMCAとして公益性の高い活動が継続されてきたわけですが、特に2019年度については、従来行ってきた活動に加え、度重なる気候変動によって引き起こされる災害に対する復興支援や地域における課題解決の活動、また、広島における多くの若者が行う社会変革を願う活動と連動し、サポートを行ってきた年度と言えるでしょう。

活動の方針を具体的に確定していくGCC運営委員会では、毎月のミーティングを持ち、スタッフ主導型の運営から会員主体の運営に変革をしていく、まさに会員組織の活動としての初年度であったと思います。

広島YMCA国際コミュニケーションセンターの会員は、YMCA活動に賛同し、社会をより良い方向に導きたいという思いを持った人たちの集まりです。ですからその活動は地域に根差したものでなくてはなりません。そういった意味では2019年度の活動は、YMCAが主体でおこなうものと市民が行う活動をサポートしていくものがバランスよく行われた年度であったように感じております。

今後も地域に課題に取り組む市民活動としてのYMCAでありたいと感じています。

公益財団法人広島YMCA

GCC運営委員長 小田 長

台風15・19号復興支援活動 ワイズの協力で広島でもできるボランティア

12/1(日)コンベンションホールにて「広島でもできるボランティア!台風15・19号復興支援・被災地にクリスマスリースを送ろう!」の広島YMCAクリスマスが行われました。会員・レイパーソン・ワイズメンズクラブ・職員有志が集まって行なわれたこのイベントは、前半をアドベントの礼拝とし、YMCAクワイヤー讃美歌サービスの協力を得て、澤村雅史チャプレンの司式の元、本格的なクリスマス礼拝が行われました。後半は、ワイズメンズクラブやメネットの皆さんの指導によって、テーブルごとで3つのクリスマスリースを作成し、合計4テーブルで12個のリースを完成させました。それぞれのテーブルが意見を出し合いながら趣向を凝らして作成していましたが、どのリースも個性的なオリジナルリースを完成させることができました。

作成されたクリスマスリースは、支援活動を行っているYMCAや被害のあった地域に送られました。

- ◆宇都宮市福祉施設や復興センター(とちぎYMCA)
- ◆いわき市の教会(福島県の教会)
- ◆川崎市の教会(横浜YMCA)
- ◆長野市福祉施設(横浜YMCA)
- ◆新宿区のチャリティーコンサート(東京YMCA)

【感謝のメールより】

昨日夜に素敵なクリスマスリースが届きました。とても大きく、素敵で、感激しました!素敵なリースをお送りいただきどうもありがとうございます。早速、災害VCや復興センター、サロンに飾りたいと思います。災害支援活動に関わり(子どもの貧困や野外もそうですが)、「一人ひとりに心に寄り添い、生きる力を支えていく」のが、私たちの仕事なのかなと感じました。クリスマスリースは、被災した方だけではなく、災害支援に関わる全ての皆さんに光を与えてくださるものになりそうです。



写真左上:水害にあった川崎戸手教会



写真右上:復興支援にあたるとちぎ市民活動推進センター

写真右下:台風19号復興支援チャリティーコンサート



動き始めた広島の若者たち Friday for Future(未来のための金曜日)

広島YMCAの常議員であるスティーブンリーパー氏が提唱している核兵器廃絶と地球環境保護についての活動に賛同した広島の若者達が新たな試みを始めました。Friday for future(未来のための金曜日)と呼ばれるこの活動は、スウェーデンの環境活動家・グレタトゥンベリーさんの活動にも連動しています。

広島市平和公園で座り込みのストライキを行い、その後、広島市内の繁華街を環境保護を訴えるデモ行進を行っています。

また、毎週金曜日の夜には繁華街の一角に座り込みを行いながら、市民の皆さんと語る活動を展開しています。メンバーの一人でもあるYMCAのキャンプリーダーOBの山口春樹さんはこう言います。

「私が気候変動のことに興味を持ったのは9月20日。世界中で気候変動のためのストライキが起きた日です。163カ国で400万人が参加しました。日本でストライキと聞くとすぐ抵抗があると思います。仕事をされている方は、社会的立場もあり難しいとも思います。ただ、世界では、学校に行きたくても未来のことを思いストライキに参加する学生が沢山の

ということ、私の大好きな子どもたちが笑って暮らせる未来が失くなるかもしれないという話を聞いて、見て見ぬふりは出来ませんでした。まずは知ることから始めたい。自分の日々の生活に少しだけ変化を起こせるようなきっかけ作りがしたい。そんな思いでこのイベントをしようという話になりました。」

広島YMCAではFriday for futureの活動をサポートするためにボランティアルームの提供や備品スペースの提供なども行っています。地球環境は待たなしの状況です。私たちも子ども達の未来のためにできることから始めていきましょう。



回を重ねるごとに多くの若者たちがあつまるようになった。大きな社会ムーヴメントとしてYMCAはサポートしていきます。

西日本豪雨災害の被災地を忘れない 昨年到现在リフレッシュキャンプ実施



2020年2月8日～9日 2018年に発災した西日本豪雨災害の復興支援プログラムとして、被災地の子ども達を対象にしたリフレッシュキャンプを琴引フォレストパークにてスキーキャンプとして行いました。参加者は、被災した小学校から、81名が参加。

ウエルネススタッフスポーツセンターとYMCA専門学校から4名専門スタッフと生活面のケアとしてユースボランティアリーダー3名、将来スポーツインストラクターをめざす専門学校社会体育科の学生10名、プロのカメラマン1名、総勢18名という万全のスタッフ体制でリフレッシュキャンプを運営しました。

2018年7月に発災した西日本豪雨災害ですが、広島YMCAとしてボランティアセンターの運営スタッフ派遣

や全国のYMCAから参加する土砂掻きボランティアのコーディネート、被災した地域の指導者や家族に対する心のケア講習会など、様々なサポートを行ってきました。昨年もリフレッシュキャンプを行い、その継続サポートとして今回のスキーキャンプが行われ、被災した地区の子ども達に対して広島YMCAが声をかけて無償でキャンプ行っているものです。



楽しくスキーを満喫しました。

今年は暖冬の影響で降雪がほとんどなく、スキーができるか心配されていましたが、好運にも1日夕方から大量の降雪があり、約60名の子ども達は2日間のキャンプでリフトにもものことができました。

とてもいい思い出ができたのではないのでしょうか？昨年参加の子ども達もいて、楽しい2日間を過ごすことができました。

ウエルネススポーツセンタースタッフ



約100名の子ども達やリーダーでリフレッシュキャンプを実施

サーロー節子さんによって蒔かれた種が 芽を出し、葉を広げ、実をつけ始めた。

2019年11月広島YMCAは、講演のため広島を訪れたサーロー節子さんのサポートを行いました。YMCAのOBでもあるサーロー節子さんは、YMCAで活動するユースとの交流も希望されたため、広島で平和活動を行っているユースとの交流会を行いました。

交流会に参加したユースは、中国新聞ジュニアライターや広島女学院大学ボランティアセンター、ピースボート経験者、YMCA国際リーダー会、国会議員に核兵器禁止条約の賛否を問う若者の会（カクワカ広島）、核兵器廃絶と環境問題を考えるFriday for future、スティーブンリーパー氏のもとで平和文化の活動を行うピースカルチャービレッジなど様々でしたが、その中で、サーロー節子さんは「核兵器廃絶の活動は、今度はあなたたちがやっていく番で、行動しなくてはいけない」という強いメッセージを残しました。

その言葉に勇気づけられた若者たちは、現在活発に平和活動を展開しています。中でも、国会議員に核兵器禁止条約の賛否を問う若者の会（カクワカ広島）は積極的に国会議員と面会を行い、核兵器禁止条約を批准するよう国へ働きかける協力を依頼しています。

広島YMCAにおいてもその活動をサポートしており、2/22（土）には、ICAN国際運営委員・川崎昭氏をはじめ、自由民主党の衆議院議員・立憲民主党の参議院議員などを招き、講演会とパネルディスカッションを行うイベントを行っています。今回も広島YMCAは後援団体として、若者のサポートを行いました。

広島YMCAは若者にたいして、多くの平和の種をまき、その活動が花開くよう、これからもサポートを続けてまいります。



YMCAで行われた核兵器廃絶に向けた国の政策を学ぶ市民集会

聖書の窓

広島YMCA 2019年度年間聖句

「目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり 立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。何事も愛をもって行いなさい。」

(コリントの信徒への手紙一 16章13節～14節)

昨年4月から一年間、広島YMCAはこの年間聖句を掲げて皆さまと共に歩んで参りました。今号では締めくくり、「目を覚ます」ことについて考えてみたいと思います。「春眠暁を覚えず」とはよく言ったもので、心地よい暖かさゆえに、寝坊が怖い季節になってきましたね。寝坊につながる二度寝を防ぐためには、朝日を浴びるのが良いのだそうです。心がけや決意よりも、「朝」という環境に自分自身を置くことが有効だ、ということでしょうか。

さて、聖書が「目を覚ませ」と述べているのは、実際の睡眠から目覚めよという意味ではなく、身の回りや世界の状況に鈍感にならず、神が一人ひとりに与えている使命に向けて備えよ、ということだと考えられます。それはまさに、心がけや決意によってなすることではなく、「目覚めている」環境に身を置くことから始まるのではないでしょうか。広島YMCAはその環境を「互いを認め合い、高め合う」ポジティブネットとして実現しようとしています。そして、この記事を読んでくださっているあなたこそ、そのポジティブネットの欠かせない一人なのです。



広島女学院大学宗教委員長
人文学部・人間生活学部
共通教育部門 教授
広島YMCAチャプレン
澤村 雅史

2020年度の主な活動予定

◆春の活動

原爆の子の像 建立記念式典 5/5(火)
西日本YMCAリーダー研修会 5/4(月)～5/6(水)

◆夏の活動

第29回 ハノーバーYMCA国際交流 7/25(土)～8/17(月) 予定
第60回 ホノルルYMCA国際交流 7/26(日)～8/8(土) 予定
第42回 広島YMCA A国際青少年平和セミナー 8/4(火)～8(土)
第16回 平和のとうろう流し 8/6(木)

◆秋の活動

第1回 YMCAフェスティバル(旧バザー) 10/4(日)
第25回 広島YMCAチャリティーラン 11/23(祝・月)
国際協力募金(街頭募金含む) 11月～2月末 強化月間

◆冬の活動

国際協力募金・街頭募金活動 12/6(日)
YMCAピンクシャツデー 2021年2/24(水)
フィリピンワークキャンプ 2021年3月中旬～末(予定)

但し、国際交流プログラムは国内の状況で変更することがあります。

YMCA維持会員継続のお願い

この度、広島YMCAニュース年度末号とともに、2020年度の会員継続のお願いを同封させていただきました。2020年度も地域社会のために公益性の高い活動を展開してまいります。今後の活動予定をご高覧いただき、会員の継続をいただき、公益財団法人広島YMCAをお支えいただけますよう、よろしくお申し込み申し上げます。



フィリピンワークキャンプ中止のご報告

2020年3月11日(水)～25日(水)の予定で行われる予定だったフィリピンワークキャンプですが、コロナウイルスの感染拡大の防止や渡航先(フィリピン)への影響も考え、今年度は中止とさせていただきます。予定しておりました学校建設のための支援金・ストリートチルドレンへの食費支援及び支援物資の古水着に関しましては、予定通り、セブYMCAを通して実施いたしましたのでご報告いたします。



広島YMCAネットワーク

【学校法人】

- ◎広島YMCA 〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11……………TEL 082-228-2266
- ◎福山YMCA 〒720-8522 福山市西町2-8-15……………TEL 084-926-2211
- ◎東広島YMCA
〒739-0043 東広島市西条西本町28-6サンスクエア東広島4F TEL 082-423-1717
- ◎YMCA米子医療福祉専門学校
〒683-0825 米子市錦海町3丁目3-2……………TEL 0859-35-3181
- ◎岩国YMCA国際医療福祉専門学校
〒740-0018 岩国市麻里布町2-6-25……………TEL 0827-29-2233
- ◎YMCAコンフォレスト湯来
〒738-0601 広島市佐伯区湯来町和田840-2……………TEL 0829-83-0372
- ◎雲月山キャンプ村 山県郡北広島町土橋……………TEL 0826-35-0384

【社会福祉法人】

- ◎広島YMCA福祉会
〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 2号館……………TEL 082-227-2884
- ◎広島友愛福祉会
〒739-0651 大竹市玖波4丁目8-8……………TEL 0827-57-7500
- 【公益財団法人】
- ◎広島YMCA国際コミュニティセンター
〒730-8523 広島市中区八丁堀 7-11……………TEL 082-228-1151
- 【株式会社】
- ◎ユースサービス
〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 3号館……………TEL 082-222-9500
- 【株式会社受託事業】
- ◎川・森・文化・交流センター
〒731-3501 山県郡安芸太田町大字加計5908-2……………TEL 0826-22-2126